



であい・ふれあい・ささえあい
困ったときはおたがいさま

平成21年 1月8日 発行
発行元 NPO 法人 ユ-アンドアイ
発行責任者 佐藤 真智子

ハローユ-アンドアイ

第42号

あけましておめでとうございます



今年もどうぞよろしくお願いいたします。お元気で新しい年をお迎えのことと存じます。

元日は快晴に恵まれ、まばゆいばかりの日の出とともに新しい年は始まりました。たつのこ山で、雲ひとつない地平線から勢いよく昇る太陽に周りからも感動の聲が上がりました。

昨年以降突然日本列島を襲った未曾有の経済危機。メディアは毎日暗いニュースばかりを流しています。そんななか、2009年はどんな1年になるのでしょうか。この国もチェンジができるのでしょうか。私たちは何が出来るのでしょうか。

不安をあおるかのようなニュースにめげず、毎日の暮らしに些細な楽しみを見つけ、明るく前を向いて暮らしていきたいものです。

ユ-アンドアイは皆様に支えられて10月で満10歳になります。5月には記念事業も予定しています。

困ったひとのよりどころである介護保険法も自立支援法も国の施策は度々変わり、税収に頼る行政のサービスも自ずから限度があります。一方で困っている人の生活ニーズは待ったなしで、ユ-アンドアイがこれまで続けてきた活動が、今後ますます必要になると思われ、真に“市民力”が問われるのもこれからだと思います。

10歳のユ-アンドアイは、それらの社会状況をふまえ、“誰もが暮らしやすい地域づくり”のため、市民ニーズの検討とユ-アンドアイは何を出来るか話し合い、3年先を目標に計画を立てていこうと、昨年からの検討に入っています。

今年も情報公開に努め、柔軟で先駆的な活動を目指し、皆様と手を携えて歩んでいきたいと思っておりますので、どうぞご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

< 福祉有償運送・その後 >

おでかけサポートが道路運送法に基づいて行われるようになって、まもなく3年になろうとしています。

移行に備え、茨城福祉移動サービス団体連絡会(茨移連)に協力する形で、活動継続のため頑張ってきました。途中、法律が変わり“登録”によって行うようになり、今、ユ-アンドアイはもとより県内各地で単独では移動が困難な人の外出を支える送迎サービスが日々行われています。

また、県内各地域で移動のための様々な取り組みが行われるようになっていますが、それらのサービスが地域の人々の“移動の自由”を目指して、効率的・効果的に行われるよう、関係する機関・事業者・行政・NPOが協力し考えていこうという取り組みが始まろうとしています。

しかし、ユ-アンドアイにとって相変わらずの大きな課題は、なんと言っても運転協力者の不足です。“困った”に応える活動を継続するため、皆様のお知り合い・ご近所の方で“やってみよう”という方がいらしたら是非お知らせください。



～ユアンドアイ 10周年によせて～メッセージ その2～



—たすけあい活動に感謝しています—

我が家の場合は、たすけあい活動の利用者としてお世話になり、一方でNPO法人の決算・税務申告を応援するという形で関わりました。6年という長い間、夕食やお掃除など、家事の支援をしていただきました。子供が小学生や中学生の時期でしたので、大変助かりました。訪問してくれた協力者の方はとてもいい人たちでした。子供たちも違和感なく、あたりまえのように慣れていき、学校帰りに安心して家路につくことができたことと思います。子供たちの下校時間帯はなにかと間違いの起こりやすい時間帯です。協力者の方たちのおかげで、その心配な時間帯に、我が家はいつも玄関を開けて開放的な雰囲気をつくることができました。夕方5時頃には夕食ができていましたので、子供たちはいつも6時にはもう食べ終わっていました。それも毎日、決まったようにきちんとした夕食を食べていましたから、生活リズムも安定していたものと思います。

今では、長男が25歳、末っ子が高校2年生となり、ますますの成長をしてくれました。つい先だって、子供たちはそれぞれの幼い頃を懐かしみ、思い出話をしていました。その懐かしい思い出はたくさんあったのですが、子供たちみんなが口にしたのは、「僕たちが小さい時に、〇〇さんたちが来てくれて面倒を見てくれた。そのときは感謝というものを分からなかったけれど、今は分かる。もっと大きくなったら恩返しをしたい」ということでした。とっとうれしい思いがします。あわただしく過ぎてしまいそうな子育ての大事な時期にユアンドアイのたすけあい活動にご支援をしていただきました。一日たりとも恩を忘れたことはないのですが、改めて心よりの御礼を申し上げます。これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

(窪木 康雄)

—あまい水 苦い水—



たすけあい活動をするようになったのは名札を見ると2001年とあり、7年のおつきあいになります。とはいえ、浅い時や深い時もあり、ここ2年間は仕事と姑の介護でご無沙汰していました。縁が切れるかと思っていたら、7月に吸い寄せられるように戻ってきてしまいました。甘い蜜があるのでしょうか(?)。多分、たすけあい活動をした後の、自分がなにか役に立ったという満足感が心地よいのだと思います。それはなかなか甘露なお水なのです。蛇足ですが付け加えると苦いお水を味わう時もあります。

(江川のホタル)

お知らせ

ユーアンドアイ設立 10周年記念事業



～さわやか福祉財団 堀田力氏講演会～

日時 21年5月24日（日）午後（時間未定）（午前 ユーアンドアイ総会）
場所 流通経済大学

設立10周年にあたりまして、堀田力氏（さわやか福祉財団）の講演会を開催します。

講演の内容は、困難を抱えても、誰もが住み慣れた地域でその人らしく暮らしていくためにはどのような取り組みが必要とされるのか？公的サービスで不足する部分を補うインフォーマルサービス（たすけあい）の必要性について、また、地域（行政・住民）が、そのために行うべき取り組みについてなどお話ししていただく予定です。

・・・詳細は次号にてお知らせします・・・

活 動 状 況

| | たすけあい活動の活動時間 | | | | | | | 介護ステーションの活動時間 | | | |
|-----|--------------|-------|------|-------|------|------|-------|---------------|----------|------|-------|
| | 家事 | 介助・介護 | 子育て | おでかけ | いきいき | その他 | 合計 | 訪問介護 | 介護予防訪問介護 | 居宅介護 | 合計 |
| 8月 | 29.0 | 14.0 | 9.0 | 536.5 | 31.8 | 4.5 | 624.8 | 250.5 | 79.0 | 1.0 | 330.5 |
| 9月 | 39.0 | 10.0 | 12.5 | 570.0 | 34.0 | 13.2 | 678.7 | 252.0 | 68.5 | 2.0 | 322.5 |
| 10月 | 30.5 | 10.0 | 30.0 | 510.5 | 42.7 | 10.5 | 634.2 | 277.5 | 73.0 | 2.0 | 352.5 |

| | ぱれっとの利用人数 | | | 受託事業の活動時間 | 会 員 数 | | | |
|-----|-----------|--------|-----|-----------|----------|-----|------|------|
| | 児童デイ | 放課後預かり | 合計 | | 障がい児学内介助 | 正会員 | 一般会員 | 賛助会員 |
| 8月 | 176 | 38 | 214 | 33.75 | 38 | 372 | 10 | 420 |
| 9月 | 175 | 1 | 176 | 1,727.25 | 38 | 375 | 10 | 423 |
| 10月 | 180 | 6 | 186 | 1,833.25 | 38 | 377 | 10 | 425 |

今年の抱負～2009～



たすけあい

送迎に関しては常に安全を心がけることが第一の目標です。協力者の方も利用者の方もお互い信頼関係を築きながら気持ちよく利用できるように再度ご理解をいただきたいと思っています。

また、協力者の募集を行い、一人の人にあまり負担がかからないようにしていきたいです。



介護ステーション

今、介護職を担う人手不足が広がっています。ユアアンドアイも慢性的なヘルパー不足で忙しい毎日ですが、私達は自己研鑽し、利用者の安心や喜びに繋がるよう、信頼していただける質の高い介護を目指していきたいと思っています。



ぱれっと

本当に必要な“支援”、必要とされる“ぱれっと”って？

児童デイサービスという特性を熟慮し、次の一手を考えながら(!?)邁進していこうと思います。今年も～うよろしく願います。



学内介助

皆さんの一日一日の積み重ねがあってこそその活動です。今年も保護者・学校との信頼関係を築きつつ、一人一人が気持ちよく介助を続けることができるよう環境作りに努めていきますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



編集後記

あけましておめでとうございます。
年末年始は晴天に恵まれ、とても気持ちよく新年が迎えられました。

学内介助員はこれからの季節ちょっとした悩みが。3学期にはいると卒業式に向けて、歌の練習・送る言葉の練習などが始まりますが、体育館の冷え込みはさることながら、年齢とともに緩んでくる涙腺と戦わなければならない季節なのです。練習中の静まり返った体育館で、何とか涙はこらえても、介助員が鼻水を啜り上げる音が響きわたる、なんてことも。(私だけ?)

さてさて、今年も頑張ります。よろしくおねがいます。

M×2

連絡先:NPO法人 ユアアンドアイ

〒301-0017

茨城県龍ヶ崎市姫宮町104番地

電話(平日 9:30~17:00)

0297-62-2667

FAX:

0297-62-2698

ホームページ

<http://www.npo-ibaraki.or.jp>

ご意見・お問い合わせメールアドレス

yu-and-ai@npo-ibaraki.or.jp